

枚方市駅周辺まちづくり ～再整備による新たな飛躍に向けて～

令和5年5月25日
枚方市総合文化芸術センター
本館 関西医大 大ホール

目次

I .枚方の歴史

II .枚方市の現状

III .今、めざすべきまちづくり

IV .枚方市駅周辺でめざすまちの
実現に向けた方針

古代～中世

■古墳時代

ひらかた

- ・日本書紀に「比羅智馱」の名が記載

■飛鳥時代～平安時代

- ・百済寺 建立
- ・貴族の狩猟地、別邸などが点在

■室町時代

- ・本願寺8世 蓮如が出口御坊を建立
- ・枚方、招堤、出口が寺内町として発展

■戦国時代

- ・豊臣秀吉による文禄堤の整備に伴い「京街道」が成立
- ・伏見城と大坂城を結ぶ街道として発展

百済寺 再現イメージ図



※この図は、あくまでイメージです。実際は、異なる可能性もありますのでご了承ください。

提供：枚方市

近世～近代

I.枚方の歴史(2)
～淀川・枚方宿周辺など～

江戸時代

- ・ 東海道の宿として「枚方宿」を設置
- ・ 淀川の枚方付近の茶舟が
「くらわんか舟」と呼ばれ 有名に



歌川広重「京都名所之内 淀川」

明治時代

- ・ 明治初期 淀川外輪船の就航
- ・ 明治43年 京阪電車開業（枚方駅、枚方東口駅などが設置）



淀川の外輪船

昭和時代

- ・ 昭和33年 香里団地 入居開始
- ・ 昭和43年 枚方三越 開店（平成17年 閉店）
- ・ 昭和50年 丸物枚方店 開店(のちに近鉄百貨店)
(平成24年 閉店)
- ・ 昭和50年 サンプラザビル 開業
- ・ 昭和51年 枚方まつり 初開催
- ・ 昭和53年 枚方市駅高架化工事 着手
- ・ 昭和58年 蔦屋書店 1号店 創業



枚方市駅周辺（昭和50年）

現代

■ 平成時代

- ・平成2年 ビオルネ 開業
- ・平成5年 枚方市駅高架化工事 竣工
- ・平成8年 クラボウ工場 閉鎖
- ・平成15年「くらわんか花火大会」 最終年
- ・平成18年 関西医科大学附属枚方病院 開院
- ・平成19年 五六市 初開催
- ・平成25年 関西医科大学枚方キャンパス 開設
- ・平成28年 枚方T-SITE 開業

■ 令和時代

- ・令和3年8月 総合文化芸術センター 開館
- ・令和4年9月 第1回水都くらわんか花火大会開催

■ Coming soon

- ・③街区再開発ビル等の開業 2024年夏頃(予定)



近未来

■ 近未来

● 都市基盤の充実

- ・ 新名神高速道路の開通 (2027年度予定)
- ・ 淀川渡河橋の供用開始 (2029年度予定) など

● 関西万博の開催(2025年)

● DXの進展

新名神高速道路



空飛ぶ車



関西万博



この機会をしっかりと捉え、
枚方の魅力やまちの価値を高めたい

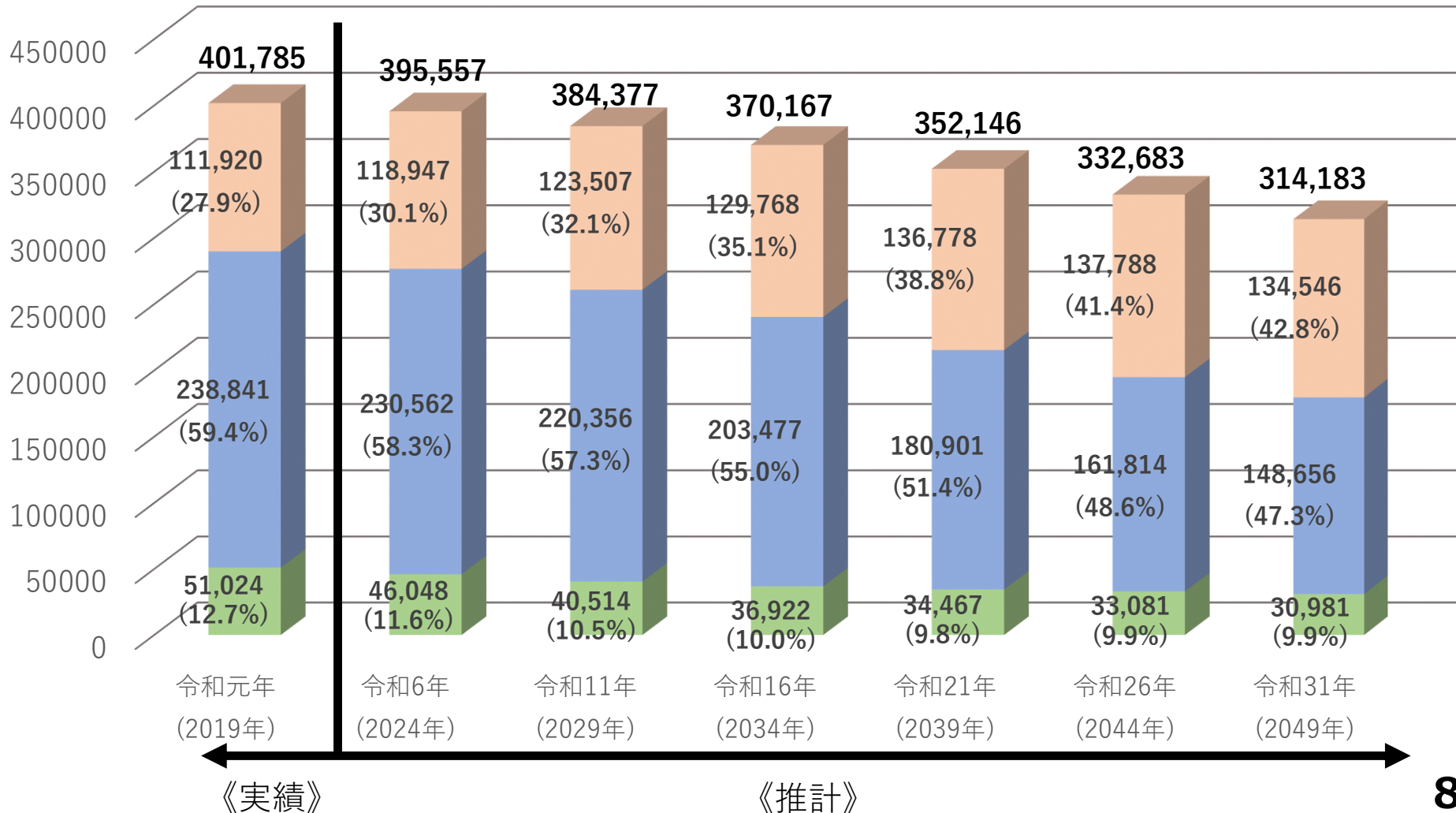


II. 枚方市の現状

定住人口の減少(少子高齢化)

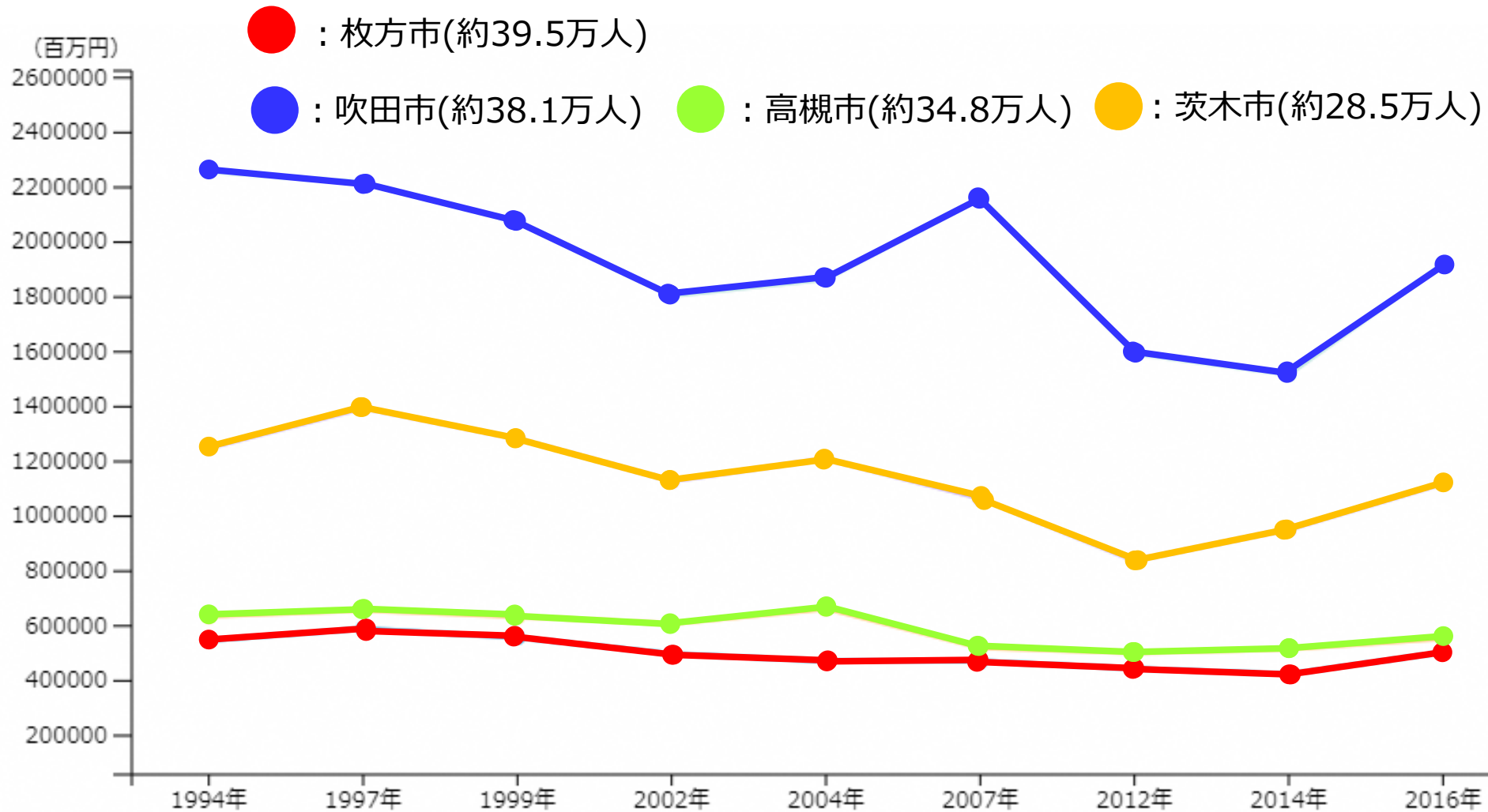
年齢3区分の人口推計結果

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



活力の停滞・低下（1/2）

■年間商品販売額

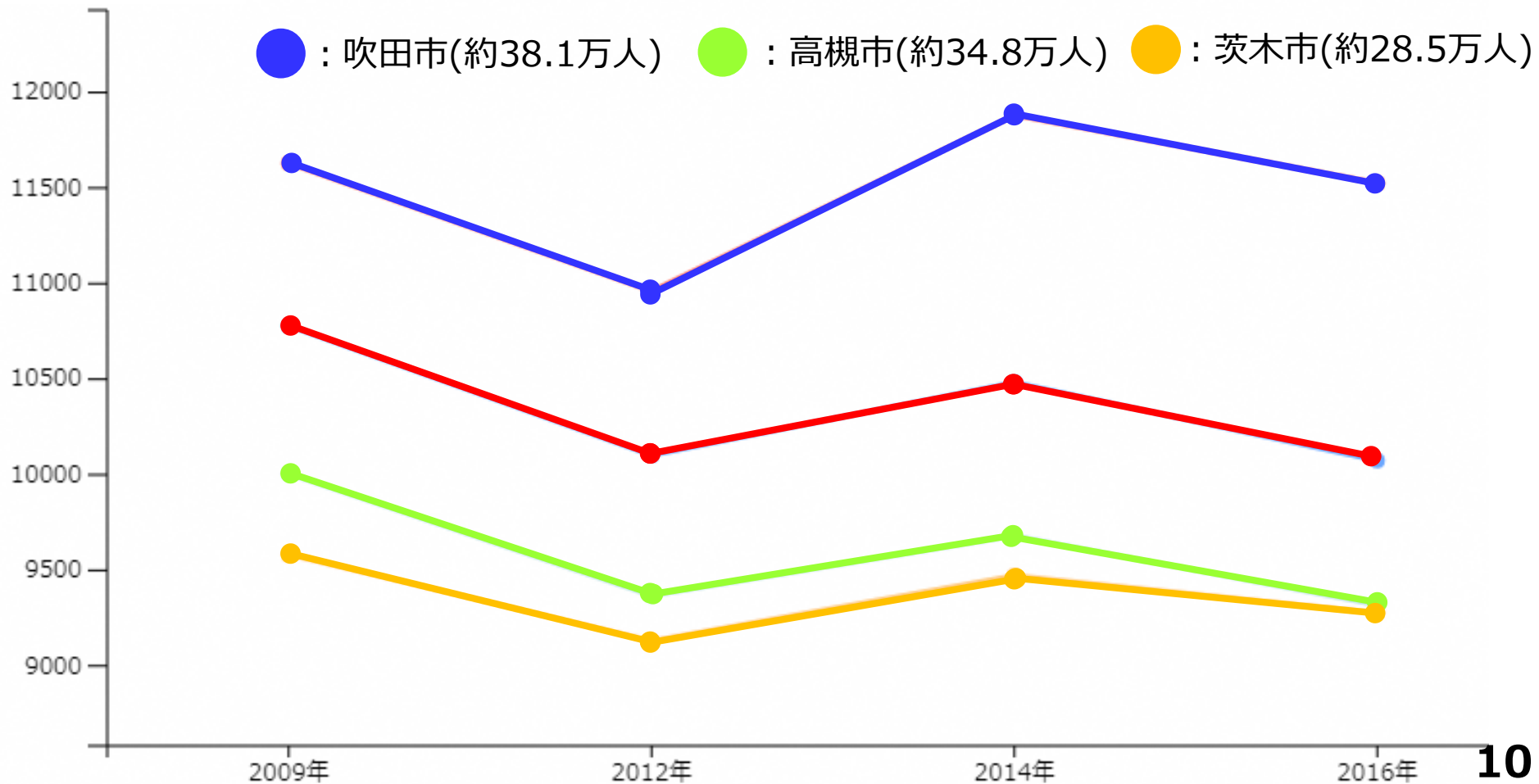


活力の停滞・低下（2/2）

■ 事業所数

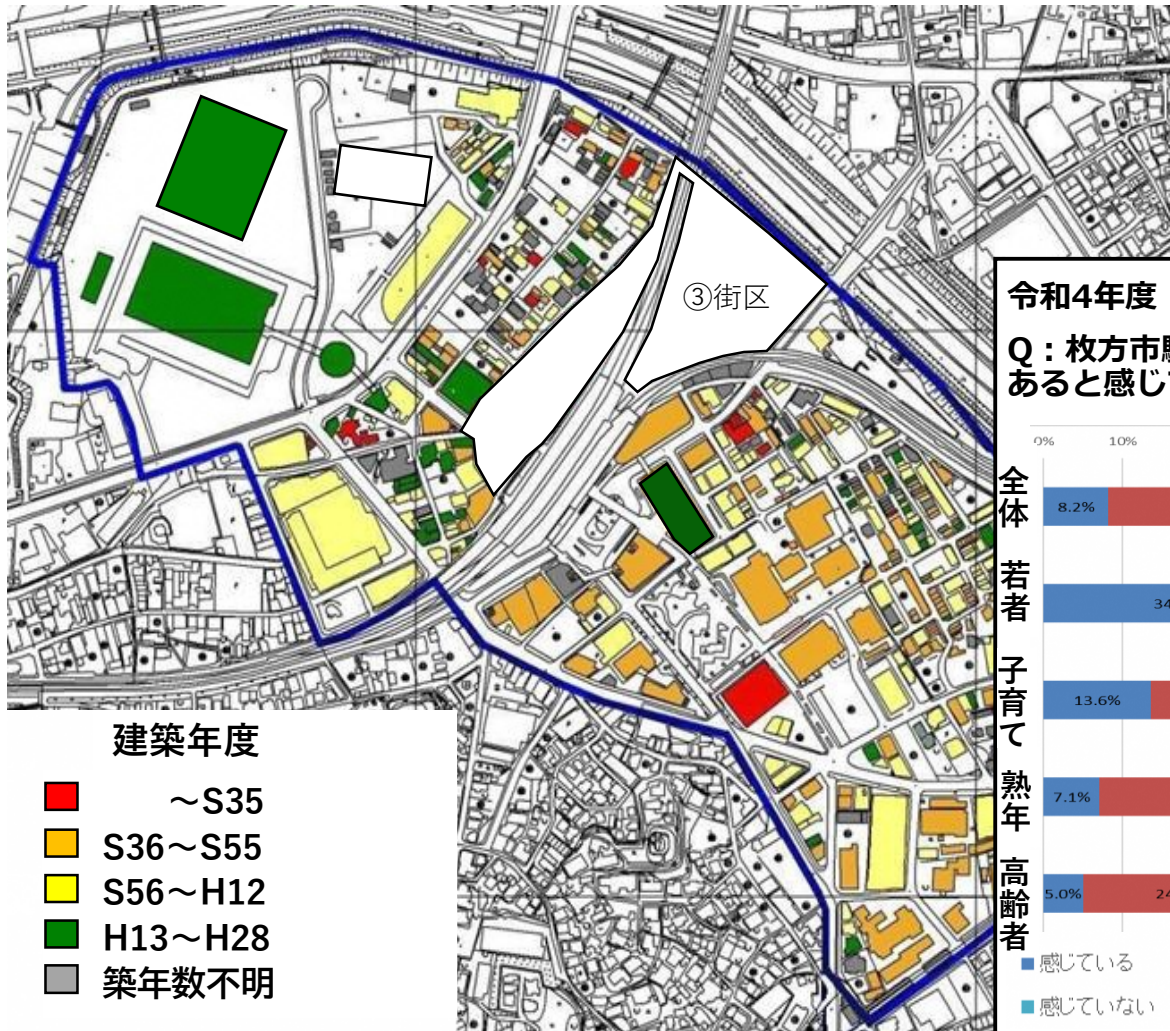
● : 枚方市(約39.5万人)

● : 吹田市(約38.1万人) ● : 高槻市(約34.8万人) ● : 茨木市(約28.5万人)



中心市街地の 都市機能の老朽化と賑わいの低下

■ 都市機能の老朽化

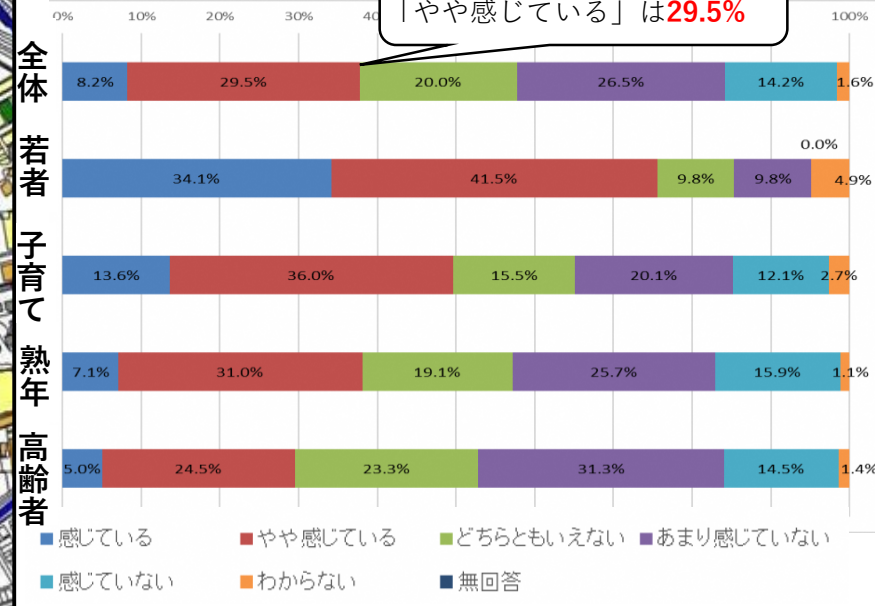


■ 賑わいの低下

令和4年度 枚方市市民意識調査

Q：枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じていますか。

全世代の「感じている」8.2%
「やや感じている」は29.5%





Ⅲ. 今、めざすべきまちづくり



枚方市がめざしているまち

■ 第5次枚方市総合計画

《めざすまちの姿》

持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方

〔重点的に進める施策〕

- ① 市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる
- ② 安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる
- ③ 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる
- ④ **人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる**
 - 広域中心拠点である**枚方市駅周辺の再整備**
 - 市内の移動の円滑化
 - 市内産業の活性化



人々の交流や賑わいを創出



枚方市全体のまちの魅力を向上



● 2025年大阪・関西万博を契機とした
ひらかた万博

《キャッチコピー》

みんなで創ろう！ この街の未来

〔目的〕

- ① **地域経済の活性化**
- ② **まちへの愛着向上**



枚方市駅周辺でめざしているまち

■ 枚方市駅周辺のまちの将来像

○ 再発進 ひらかた

人が主役の「ゆとり」と「賑わい」のまちへ

《まちづくりの方向性》

- 多様なニーズに応え、様々な人が活躍でき、居心地よく過ごすことができる
人が主役の市駅周辺まちづくりを実現

〔ゆとりと賑わいづくりに向けて〕

- ゆとり ⇒ **安心**：安全に生活できる街（防災、防犯）
⇒ **快適**：居心地が良い、楽しく過ごせる街
（都市環境、バリアフリー）
- 賑わい ⇒ **魅力**：訪れたい、働きたい、学びたい、住みたい街



IV. 枚方市駅周辺でめざすまちの

実現に向けた方針



めざすまちの実現に向けた施策

■ 市駅周辺の再整備と 地域資源の活用・連携強化により、まちづくりを推進

《再整備》

- ① 施策1) みどりの大空間の創出、
公園・広場の活用推進 ⇒ 交流を促進、防災減災
- ② 施策2) 交通動線の整理 ⇒ アクセス性を向上
- ③ 施策3) まちなか居住の推進 ⇒ 定住人口の増加
- ④ 施策4) ウォーカブルの推進・実現 ⇒ まちの回遊性を向上
- ⑤ 施策5) エリアマネジメント体制の構築 ⇒ 持続的なまちの魅力向上

《地域資源活用・連携強化》

- ⑥ 施策6) 天野川の景観改善 ⇒ ストック活用による
魅力向上
- ⑦ 施策7) 枚方宿、淀川との連携強化 ⇒

持続的発展に向けたまちづくりの進め方

■ 7つの施策により、まちづくりの好循環を形成

● 市駅周辺の再整備と地域資源の活用・連携強化



● まちの魅力を高め、来訪、就労・就学、定住人口を増やす



● より多くの人が集まり交流



● 多様なニーズと新たな考え方が発生



● ニーズに対応した(できる)人や機能が集まる



● まちの魅力が更に向上



《好循環を
形成》

施策1) みどりの大空間の創出、公園・広場の活用推進

《目的》 多目的に使える公共スペースを拡大・活用

⇒ 多様な人々が交流できる場を整備して、まちの魅力を向上

⇒ まちなかに安全な避難場所となる空間を確保・防災性を向上



施策1) みどりの大空間の創出、公園・広場の活用推進

《目的》 多目的に使える公共スペースを拡大・活用

⇒ 多様な人々が交流できる場を整備して、まちの魅力を向上

⇒ まちなかに安全な避難場所となる空間を確保・防災性を向上



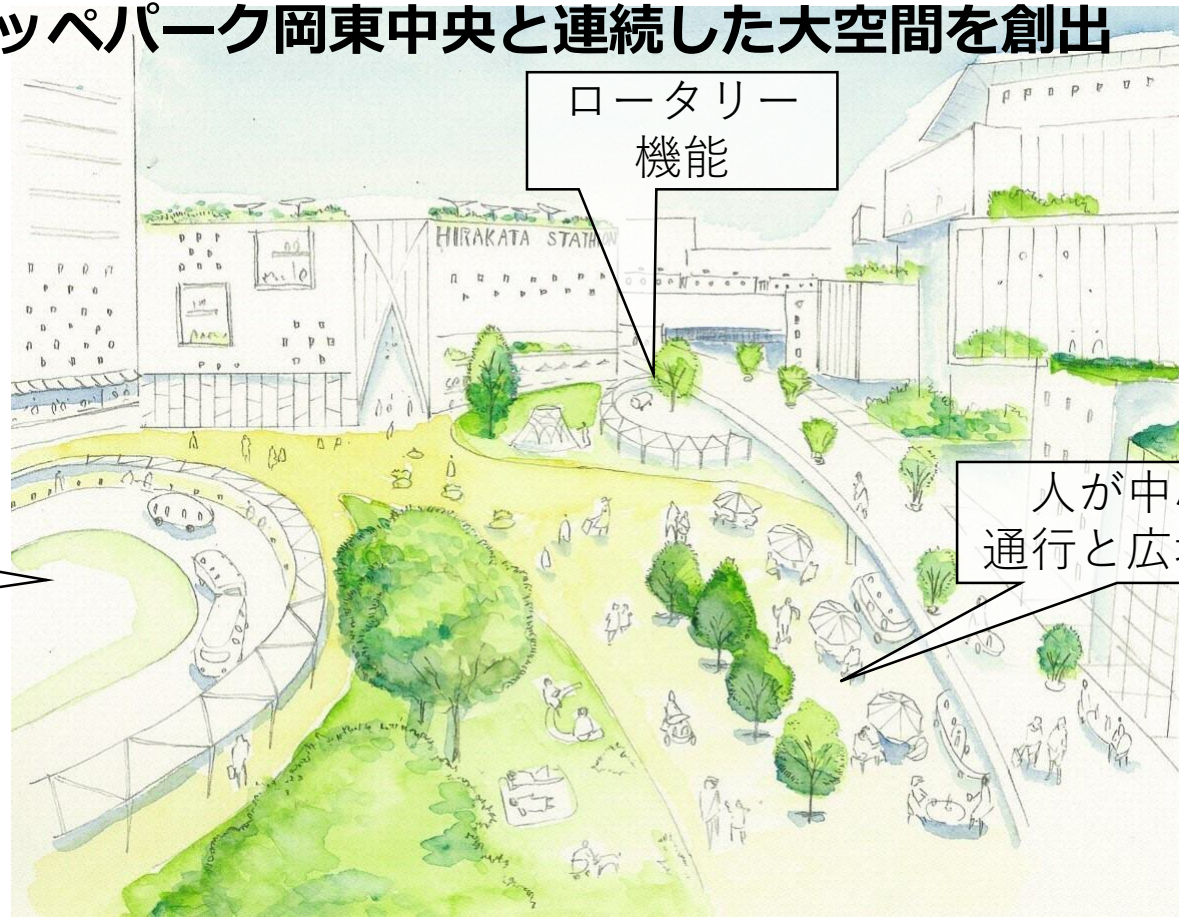
施策1) みどりの大空間の創出、公園・広場の活用推進
施策2) 交通動線の整理

《目的》 駅前広場を再整備、通過交通を抑制し人が中心の空間を創出

⇒ 公共交通の利便性を向上

⇒ 人が中心となる通行・広場空間を確保

ニッペパーク岡東中央と連続した大空間を創出



ロータリー
機能

ロータリー
機能

人が中心の
通行と広場機能

施策3) まちなか居住の推進

《目的》 多様なニーズに応じた質の高い都市型居住施設を誘導

⇒ 子育て支援や教育、医療等の施設立地を促し、活力を向上

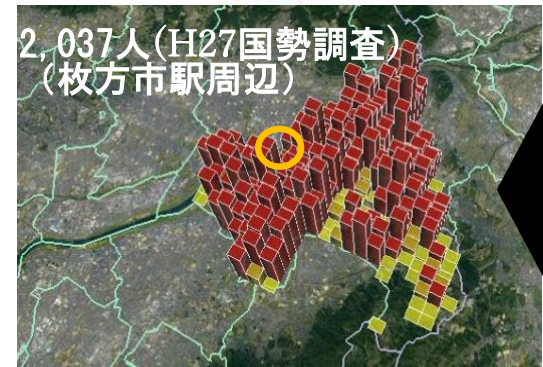


④⑤街区
土地利用のイメージ図

まちの魅力を高める複合施設
みどりの大空間と連携し、まち
に魅力を高める民間活力を導入



みどりの大空間（賑わい・憩い・安らぎ広場など）
多様な交流や市民利用ができる公園・広場



まちなか
居住
を推進

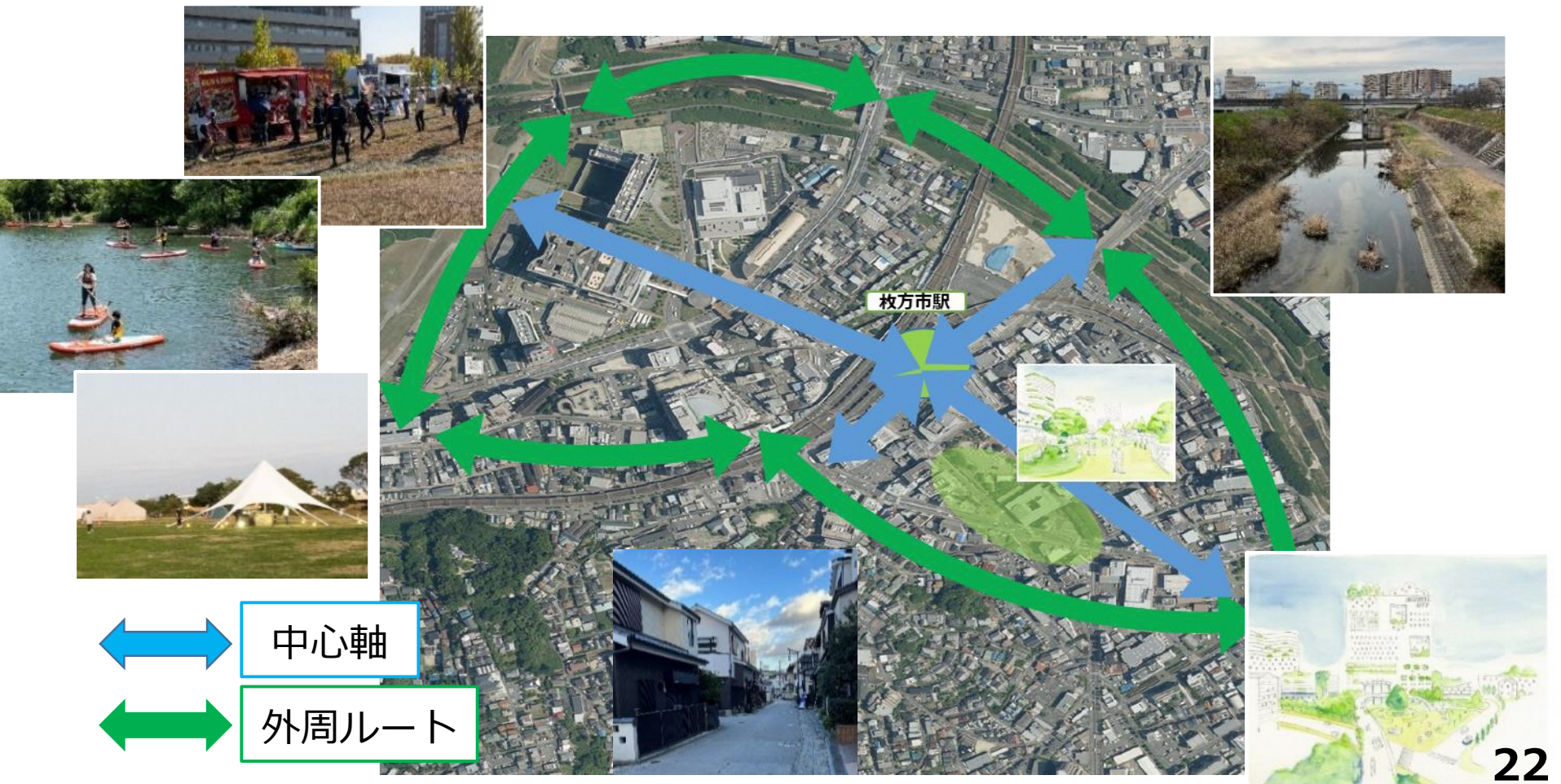
【夜間人口分布】
メッシュサイズ：500m
枚方市駅周辺のうち特に駅周辺地域は、
周辺と比べると夜間人口（2,037人）が
少ない。

施策4) ウォーカブルの推進

～居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり～

《目的》 誰もが歩いて楽しめる居心地の良いまちづくりを推進

⇒ まちの回遊性を高めて来訪者数を増やし、まちを活性化



施策5) エリアマネジメント体制の構築 ～住民・事業者・地権者などによる地域の魅力向上～

《目的》 公民連携の下、持続可能なまちの魅力向上に取り組む体制を構築

⇒ まちの賑わいづくりを促進

- ⊙ 公園や街角等を活用した各種イベントの開催
- ⊙ エリア全体での情報発信による来訪者の増加、滞在時間の延長

⇒ 良好な都市景観の形成を誘導

- ⊙ まちなかの景観のルールづくり、清掃活動など

⇒ 移動の利便性を向上

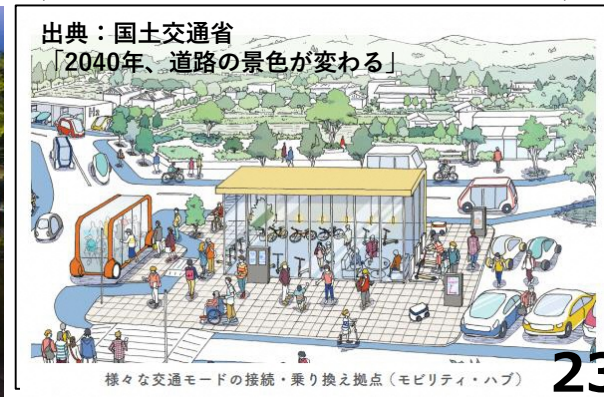
- ⊙ 新たな交通手段の確保、駐車場システムの整備など

➡ これらの取組みを通じて安定財源を確保（イベント、駐車場運営など）

〈まちの賑わいづくりと良好な都市景観形成〉



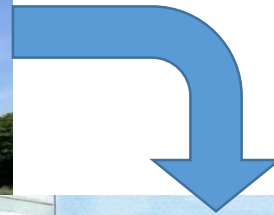
〈地区内交通の拠点イメージ〉



施策6) 天野川の景観改善

《目的》天野川の景観を改善し、地域資源としての魅力を向上

⇒ 淀川から天野川、⑤街区を繋ぎ、まちの回遊性を強化



《景観整備》



施策7) 枚方宿、淀川との連携強化

《目的》 主要な地域資源である枚方宿や淀川へのアクセスを強化
⇨ 市駅周辺の一部として連携を強化し、まちの魅力を向上



五六市

第1回LOHASパーク枚方



枚方市駅周辺再整備の波及効果

■市駅周辺再整備の効果

●枚方市内の経済効果

約**1,400**億円/年
(約**4,200**億円/10年)

●新たな雇用の創出

約**12,000**人増/年
(約**39,000**人増/10年)

●自主財源(税収)の増加

約**40**億/20年間

など

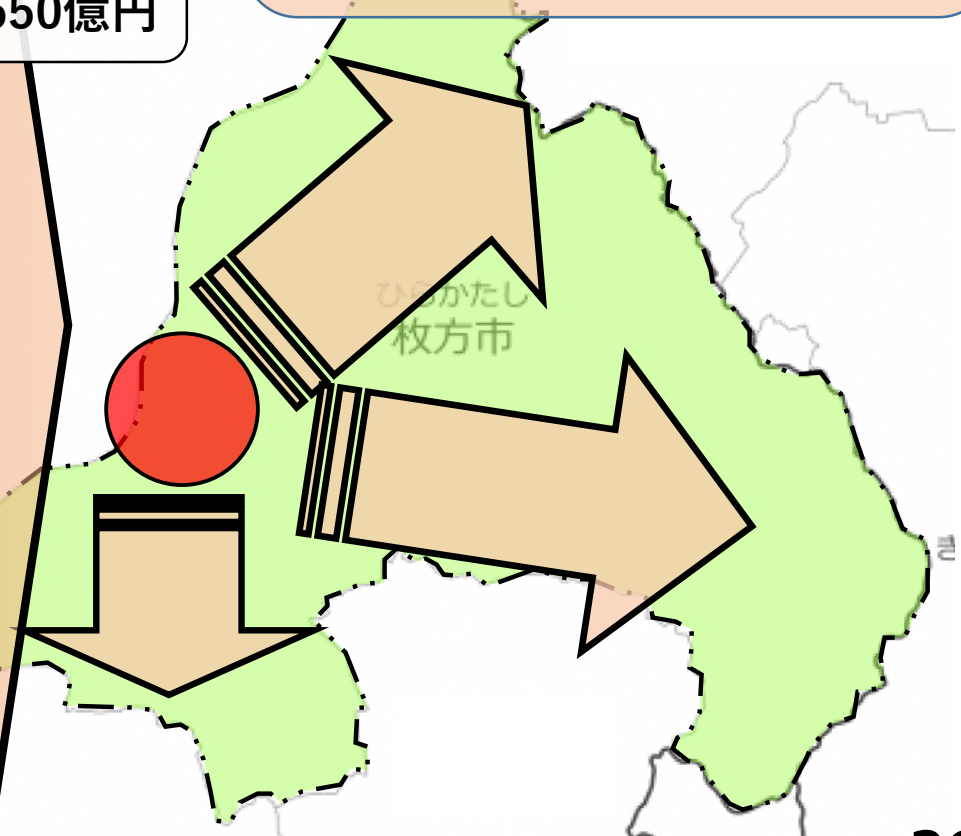
オリックス優勝
(プロ野球2021パ・リーグ)
経済効果：約**209**億円(関西)

WBC2023優勝
経済効果：約**650**億円

市
全
域
に
波
及

長期的な社会動態の転入増加
枚方市全体の活性化

- ・健康寿命の延伸
- ・満足度の向上



未来輝く枚方へ

持続的に発展する
まちへ
公民連携した取り
組みを継続

令和5年度～令和6年度
●③街区 **まちびらき**
●④、⑤街区 **都市計画決定**

令和7年度～
●④、⑤街区 **再整備**
概ね13年間の事業
●順次、**土地利用を促進**
(公園・広場、道路整備
及び新庁舎、民間活力導入など)